



相談から解決への流れ

相談者

学生・教職員全ての人を対象です。

被害者本人ではなく、第三者からの相談も受け付けます。まずは所属に関係なく、相談しやすい相談員に、電話、Eメール、手紙、直接相談員を訪問するなど、あなたの一番いいかたちで相談してください。相談内容が外部に漏れることは決してありません。



ハラスメント相談員

相談員はあなたの意向を尊重しながら、問題解決のために迅速に対応します。組織的な対応が必要な場合は、下記の流れに進みますが、あなたの了承なしには行いません。



倫理・人権・苦情処理委員会

あなたの希望する解決方法を確認しながら、速やかに所属部署での環境改善等の調整や調査委員会の設置など相談内容により細やかな対応を行います。



適切な救済措置を講じ、
問題解決に取り組めます。

電話・Eメール・手紙・
直接相談員を訪問するなど、
あなたの一番いいかたちで相談してください。
あなたの相談があなたの了承無く記録・報告されることは決してありません。
秘密は厳守します。



2024年3月発行

高知大学

「ハラスメント・性暴力等防止委員会」作成

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

国立大学法人 高知大学

●リーフレットの内容に関する問合せ先

総務部人事課安全衛生係

直通 088-844-8736

Mail rinrijinken.jm@kochi-u.ac.jp



高知大学のハラスメント
相談に関するページ

ハラスメントと感じたら



KOCHI
UNIVERSITY

高知大学では

各種の**ハラスメント**のない大学をめざして
大学全体で取り組んでいます



しない・させない・見逃さない
ハラスメントのない
キャンパスに

Without Worrying alone

ひとりで悩まないで…

大学におけるハラスメントの種類と事例

社会に存在する様々なハラスメントのうち、大学において発生する可能性のあるハラスメントを紹介します。

セクシュアルハラスメント

相手が不快に思い、自身の尊厳を傷付けられたと感じる性的な言動、あるいは、性差別的な意識に基づく言動をいいます。

例えば…

- 不必要に性的話題や性差別的発言をし、不快感、嫌悪感、屈辱感を与える。
- 性別だけを理由に、教育・研究内容・職務に不合理な差を設ける。
- 執拗に食事やデートに誘ったり、性的な内容の電話や手紙、Eメールを送りつけたりする。

パワーハラスメント

相手に対して行う、優越的な関係を背景とした言動であって、必要かつ相当な範囲を超えたものにより、就労上又は修学上の環境が害される言動をいいます。

例えば…

- 業務の指導や注意の場において職務の範囲を超えて、人格を著しく傷つける発言をする。
- 正当な理由なく仕事を上げたり、雑用だけをさせる。

モラルハラスメント

言葉や態度によって人の心を傷つける精神的暴力をいいます。

例えば…

- 周りの人を取りこんで孤立させる。
- 挨拶をしない、あからさまに無視をする。
- 人格を否定する、攻撃する。

アカデミックハラスメント

指導、教育または研究上の地位を不当に利用して、嫌がらせや研究妨害、昇任差別をしたり、人格を傷つける行為をいいます。

例えば…

- 客観性・公平性に欠ける成績評価を行う。
- 正当な理由なく、機器類や資料等を使わせない。

妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント

妊娠・出産・育児休業・介護休業等を理由とする不適切な言動等をいいます。

例えば…

- 妊娠を報告したら退職・退学を強要された(契約更新がされなかった)。
- 普通ありえないような配置転換をされた。

この他にも様々なハラスメントがあります。
あなたが、不快感・嫌悪感・屈辱感を感じたなら、それはハラスメントかもしれません。



ハラスメントを受けたと感じたら…

悩みをかかえこまずに相談員に声を届けてください。相談をしたことで、あなたが不利益を被ることは決してありません。秘密は厳守します。



ハラスメント被害を目撃したら…

当事者間の個人的な問題として見過ごさず、助けてあげましょう!

相談に関するQ&A



Q ハラスメントの被害にあったときは、
どうしたらいいのですか?

A まず、ハラスメントの記録(日時、場所、相手、内容など)をつけることが大事です。そして、ひとりでかかえこまず、友人や相談員に相談しましょう。

Q 相談に行くのをためらっています。

A 相談員は、あなたの安全とプライバシーの保護を第一に考えたうえ、話を十分に聞き、あなたの希望に沿わない対応は決してとりません。自分を責めたり、被害の深刻化や加害者からの報復等を恐れて相談をためらったりせず、どんな方法でもいいので自分を守るためメッセージを送ってください。

Q 被害者をどう支援すればいいのですか?

A 不快な場面を目撃したらすぐに注意しましょう! 被害者の相談にのり精神的に支えてあげましょう! 相談窓口に行くよう勧め、同行してあげましょう! 被害者本人ではなく第三者からの相談も受け付けます。

Q ハラスメント行為だと注意されましたが、
どこが悪いのかわかりません。

A 第三者の見方を取り入れることで気付くことが多くあります。厚意が悪意に受け取られない対応方法を相談員らと一緒に考えていきましょう。